

平成21年度 三番瀬再生事業の方向性について(案)

第1節 干潟・浅海域

平成21年度事業の方向性		(参考)事業の進捗状況
事業名	事業内容	
<p>1 干潟的環境(干出域等)形成の検討・試験</p> <p>2 淡水導入の検討・試験</p> <p>【地域づくり推進課・検討G】</p> <hr/> <p>(事業計画における5か年の目標)</p> <p>1 干潟的環境(干出域等)形成の検討・試験の実施</p> <p>2 淡水導入の検討・試験の実施</p>	<p>三番瀬では、埋立てによる干潟の減少や地盤高の低下による浅海域化の進行、汽水的な環境の場の減少等、自然環境が単調化しています。</p> <p>そこで、市川市塩浜2丁目護岸前面における干潟的環境(干出域等)形成の試験に向けて調整するとともに、他の場所での干潟的環境(干出域等)形成及び淡水導入の試験計画の検討を進めます。</p>	<p>平成18年度 決算額 11,482千円(事業1-1,1-2,5-3の合計)</p> <p><b>事業実施結果</b></p> <p>18年度は、庁内検討グループ検討会を5回開催し、検討会では必要に応じ学識経験者の助言をいただきました。「干潟的環境形成の検討・試験」及び「淡水導入の検討・試験」については、(1)事例の収集及び課題の整理、(2)期待される機能、(3)試験(案)の検討等の調査、を実施しました。</p> <p><b>結果の評価</b></p> <p>干潟的環境形成及び淡水導入に向け、期待される機能・効果や試験実施に必要な条件等を整理することができました。</p>
		<p>平成19年度 決算見込額 9,055千円(事業1-1,1-2,5-3の合計)</p> <p><b>実施計画</b></p> <p>現在残る干潟的環境を保全しつつ、三番瀬の多様な環境再生の試みとして干潟的環境(干出域等)形成の試験及び淡水導入の試験の実施に向けた試験計画の検討を進めます。</p> <p>また、検討結果を踏まえて先行的に取り組む試験については、試験の実施に伴う三番瀬の生態系や漁場環境への事前の影響予測等を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 試験計画の検討 試験箇所や実施時期、規模、方法等及び、順応的管理の取組内容、モニタリング計画等を検討します。</li> <li>2 影響予測等の実施 試験の実施に伴う周辺環境への影響予測等を行います。</li> </ol>
		<p><b>事業の実施結果・評価</b></p> <p>学識経験者、漁業者、地元住民、環境保護団体等からなる検討委員会を6回、勉強会を1回開催し、干潟的環境形成及び淡水導入に係る試験計画案、モニタリング計画案を検討しました。</p> <p>また、春季の事前環境調査を実施するとともに、試験実施に伴う周辺環境への定性的な影響を検討しました。</p> <p>これにより、20年度の試験計画策定に目処が立ちました。</p>
		<p>平成20年度 当初予算額 10,000千円(事業1-1,1-2,5-3の合計)</p> <p><b>実施計画</b></p> <p>現在残る干潟的環境を保全しつつ、三番瀬の多様な環境再生を試みるため、試験の目標を明確にしつつ、引き続き事前環境調査等を実施しながら、干潟的環境(干出域等)形成及び淡水導入の試験計画及びモニタリング計画を策定します。</p> <p>その際、三番瀬再生実現化試験計画等検討委員会の意見を踏まえるとともに、漁業者、関係機関等との協議等を進めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 三番瀬再生実現化試験計画等検討委員会の開催</li> <li>2 試験計画及びモニタリング計画の策定</li> <li>3 事前環境調査等の実施(春季・夏季・秋季等)</li> <li>4 漁業者、関係機関等との協議等</li> </ol>
		<p><b>事業の進捗状況</b></p> <p>三番瀬再生実現化試験計画等検討委員会を3回開催し、干潟的環境(干出域等)形成及び淡水導入の試験計画案等について検討を行い、市川塩浜2丁目護岸前面における干潟的環境形成の試験計画案を取りまとめました。</p> <p>この試験計画案を6月13日に開催された三番瀬再生会議へ報告したところ、三番瀬評価委員会において試験実施に伴う周辺環境への影響等について評価を受けるようにとの指示が出され、現在、評価委員会で検討を行っているところです。また、夏季の事前環境調査を実施しました。</p>

第5節 海と陸との連続性・護岸

平成21年度事業の方向性		(参考)事業の進捗状況
事業名	事業内容	
3 自然再生(湿地再生)事業 【地域づくり推進課・検討G】  (事業計画における5か年の目標) 自然再生(湿地再生)の実現に向けた取組	現在の三番瀬は、海と陸との変化に富む自然なつながりが護岸によって断ち切られています。 そこで、市川市塩浜地区の市川市所有地において、検討委員会の検討を踏まえ、塩浜護岸の改修や地元市・関係機関等との協議調整を図りながら、自然再生(湿地再生)の基本設計を進めます。	平成18年度 決算額 11,482千円(事業1-1,1-2,5-3の合計)
		事業実施結果 1 庁内検討グループ検討会を5回開催しました。検討会には必要に応じ学識経験者の助言をいただきました。 2 「自然再生(湿地再生)事業」について、次の調査を実施しました。 (1)事例の収集及び課題の整理 (2)期待される機能、必要な条件 等 結果の評価 湿地再生に向け、期待される機能・効果や必要な条件を整理することができました。
		平成19年度 決算見込額 9,055千円(事業1-1,1-2,5-3の合計)
		実施計画 自然なつながりを回復するための自然再生(湿地再生)について、塩浜護岸の改修や地元市と協議調整を図りながら、再生する湿地環境及び規模・構造等を検討し、関係機関等との調整を進めます。
		事業の実施結果・評価 公開による三番瀬再生実現化試験計画等検討委員会を設置し、検討委員会を6回、勉強会を1回開催し、意見を聴きました。
		平成20年度 当初予算額 - 千円
		実施計画 市川市塩浜地区の市川市所有地において、検討委員会の検討を踏まえ、塩浜護岸の改修や地元市・関係機関等との協議調整を図りながら、自然再生(湿地再生)の基本的事項を確定させていきます。
		事業の進捗状況 市川市から塩浜地区における自然環境学習施設の考え方が示されました。 三番瀬再生実現化試験計画等検討委員会を3回開催しました。